【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
酒井 昭平	開講時期	後期	必修·選択·	選択
	単位数	4	時間数	60

|<概要>

精神保健福祉士は精神科リハビリテーション領域の有力な一翼を担っている。

精神科リハビリテーションの歴史・概念、範囲、構成各要素、実践の過程・観点・技術、関連とその連携、それらにおける 精神保健福祉士の役割を学ぶ。

<学習目標>

- 1. 精神科リハビリテーションの概念(歴史、理念、意義、基本原則、現状)の修得
- 2. 精神科リハビリテーションの構成(対象、精神保健福祉士の役割、連携、施設など)の修得
- 3. 精神科リハビリテーションのプロセス (計画、アプローチ方法など) の修得
- 4. 医療機関におけるリハビリテーション(作業療法、レクリエーション療法、集団精神療法、認知行動療法と社会生活技能訓練、 家族教育プログラム、デイケア、ナイトケアなど)の修得
- 5. 精神保健福祉士が行うリハビリテーション (医学的リハビリテーション、社会的リハビリテーション) の修得
- 6. 精神科リハビリテーションの総合化(地域リハビリテーション、職業リハビリテーションなど)の修得
- 7. 精神保健施策の展開について

	授業計画又は学習の主題		SBO		
数	•	番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	オリエンテーション/精神科リハビリテーションの概念①		オリエンテーション/講義		
2	精神科リハビリテーションの概念②		講義		
3	精神科リハビリテーションの概念③		講義		
4	精神科リハビリテーションの構成①		講義		
5	精神科リハビリテーションの構成②		講義		
6	精神科リハビリテーションのプロセス①		講義		
7	精神科リハビリテーションのプロセス②		講義		
8	医療機関におけるリハビリテーション①		講義		
9	9 医療機関におけるリハビリテーション②		講義		
10	医療機関におけるリハビリテーション③		講義		
11	精神保健福祉士が行うリハビリテーション①		講義		
12	精神保健福祉士が行うリハビリテーション②		講義		
13	精神科リハビリテーションの統合化①		講義		
14	精神科リハビリテーションの統合化②/精神保健福祉施策の展開①		講義		
ĺ	'				

【使用図書】	〈書名〉	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	>
教科書 (必ず購入する書籍)	精神科リハビリテーシ	vョン学 日本精神保健福祉	土養成校協会編 中央法規	見 2007年1月 2500円	
参考書	特になし				
その他の資料	適宜配布			h	

【評価方法】

【履修上の留意点】

出席状況、レポート、期末試験

ビデオ学習

演習、レポート提出を適宜とり入れる